

各章問題の解答

人口と世帯

答1 ③ 男女とも平均初婚年齢は高くなった
2010年の神奈川県男性の初婚者の初婚平均年齢は31.3歳、女性は29.4歳でいずれも2000年より高くなっています。
(6、7頁(ページ)参照)

答2 ② 30歳～34歳
2010年の神奈川県における第1子出生時の母の年齢を5歳区分で見ると、最も多いのが30歳代前半の14,244人で35.8%、以下20歳代後半の12,364人で31.1%、30歳代後半の7,128人で17.9%の順です。
(6、7頁参照)

答3 ③ 5.3%
2010年中の神奈川県における全婚姻件数に占める夫婦の一方が外国籍の婚姻件数の割合は5.3%で、全国の4.3%より1ポイント高くなっています。(20、21頁参照)

答4 ③ 83.3%
2010年中の離婚について、子どもを持つ夫婦別にみた離婚後の全児の親権を持つ割合は、女性が83.3%でした。1960年までは男性が全児の親権を有する割合が高かったものの、1970年以降は女性が親権を有する割合が高くなっています。
(8、9頁参照)

答5 ③ 単独世帯
2010年10月1日現在、神奈川県の家族類型別一般世帯で最も多いのは単独世帯33.8%です。次いで夫婦と子どもから成る世帯31.1%、夫婦のみの世帯20.0%と続きます。
(22、23頁参照)

答6 男性 ②約12% 女性 ③約21%
2010年10月1日現在、男性の65歳以上の単独世帯は100,336世帯で、65歳以上の人口に占める割合は12.3%です。同じく女性は208,127世帯で、65歳以上の人口に占める割合は20.7%となっています。10年前の2000年と単独世帯数を比較すると、男性は2.1倍、女性は1.8倍と急増しています。
(22、23頁参照)

労働

答1 ③ 第3次産業、第2次産業、第1次産業
2010年神奈川県の就業者数は414万6,942人で、第3次産業の就業者数は301万5,408人、第2次産業の就業者数は89万2,678人、第1次産業の就業者数は3万5,044人となっています。
(30、31頁参照)

答2 ② 卸売、小売業
2009年(平成21年)7月1日現在における神奈川の男女別従業者構成比は、卸売業、小売業がほぼ同数、製造業が男性が77%女性が23%、医療、福祉が男性が26%女性が74%となっています。
(32、33頁参照)

答3 ② 女性就業者が増加傾向にある。
1995年以降の状況をみると、男性の就業者数は減少傾向にあり、2010年は1995年274万1,701人の90.2%です。女性の就業者数は、1995年以降の状況をみると、増加傾向にあり、2010年は1995年153万1,499人の109.2%です。
(30、31頁参照)

答4 ③ 45歳～49歳
2010年10月1日現在の神奈川県の労働人口割合の女性の状況をみると、20代後半の79.0%が最も高く、30代後半に61.0%に落ち込み、40代後半が70.7%と2番目に高くなっています。(28、29頁参照)

答5 ① 約33%
2010年10月1日現在、神奈川県の45～49歳女性就業者の正規の職員・従業員の割合は33.1%です。パート・アルバイト・その他が52.6%を占めています。
(28、29頁参照)

答6 ③ 73.4
男性の賃金を100とした場合の2011年の神奈川県一般労働者女性の賃金は73.4で、10年前の2001年の68.5より4.9ポイント上がっています。(34、35頁参照)

生活時間・生活行動

答1 ② 男性・女性とも減少

2011年調査によると、平日土日を含めた週全体平均で10歳以上男性の生活時間は、5年前の2006年との比較では、1次活動は9分増加、2次活動は24分減少、3次活動は16分増加しました。女性は1次活動は8分増加、2次活動は15分減少、3次活動は8分増加しました。

(42、43頁参照)

答2 ② 388分（6時間28分）

2011年調査によると、神奈川県6歳未満の子供のいる世帯のうち共働き夫婦の妻の平日家事労働時間は388分、睡眠時間は402分、通勤・通学時間は56分、仕事時間は220分となっています。

(46頁参照)

答3 ② 32分

2011年調査によると、神奈川県6歳未満の子供のいる世帯のうち共働き夫婦の夫の平日家事労働時間は32分、睡眠時間は385分、通勤・通学時間は84分、仕事時間は646分となっています。

(46頁参照)

答4 男性 ① パソコンなどの情報処理

女性 ③ 芸術・文化

2011年の調査で、過去1年間で学習・自己啓発・訓練を行った人の割合（行動者率）は、神奈川県民の男性は41.4%、女性は42.9%です。

種類別では、男性は「パソコン等の情報処理」18.7%が最も高く、一方、女性は「芸術・文化」15.7%が最も高くなっています。

(48、49頁参照)

答5 男性 ②まちづくりのための活動

女性 ③子供を対象とした活動

2011年の調査で、過去1年間でボランティア活動を行った人の割合（行動者率）は、神奈川県民の男性は19.9%、女性は29.0%です。

種類別では、男性は「まちづくりのための活動」7.8%が最も高く、一方、女性は「子供を対象とした活動」11.9%が最も高くなっています。

(50、51頁参照)

教育

答1 ③ 約40%

2011年度（平成23年度）の神奈川県内の大学生数は189,578人で、男子学生は114,353人、女子学生は75,225人です。全体に占める女子学生の割合は39.7%で、10年前（2001年度）の34.8%より4.9ポイント高くなっています。（54、55頁参照）

答2 ① 社会科学

（法学、政治学、経済学、社会学等）

2011年度（平成23年度）の神奈川県内の大学の大学生の学科系統別の状況は、女子学生は社会科学が20,695人（女子全体の27.5%）、次いで人文科学14,919人（同19.8%）、保健7,508人（同10.0%）の順です。（56、57頁参照）

答3 ② 約12%

2011年度（平成23年度）の神奈川県内大学の学科系統別の理工系分野（理学と工学）の女子学生の割合は11.9%です。2008年度（平成20年度）の10.5%から1.4ポイント上昇しています。

なお、神奈川県公立高校全日制卒業者の大学の理工学部・工学部進学者に占める女子割合は、2011年度は14.4%です。

（56、57頁参照）

答4 男子学生 ①約56%

女子学生 ②約64%

2011年3月卒業の神奈川県内大学の大学生の卒業後の進路別割合は、就職者は女子学生が男子学生より8.4ポイント高く、進学者は男子学生が女子学生より8.3ポイント高くなっています。

（58、59頁参照）

答5 ② 女子の方が高い

2011年度（平成23年度）の神奈川県内の高等学校卒業者のうち、大学等に進学した生徒数は36,729人で、大学等進学率60.8%、男女別では男子59.2%、女子62.3%となっています。

（70、71頁参照）

答6 ① 男性の方が多い

2011年度（平成23年度）の神奈川県内の中学校の本務教員数は14,400人で、男性教員は8,245人（割合は57.3%）、女性教員は6,155人（割合は42.7%）です。

なお、小学校の教員（本務者）は女性の方が多く（割合65.6%）、高校の教員（本務者）は男性の方が多く（割合71.6%）なっています。

（72、73頁参照）

医療・保育・健康

答1 ① 糖尿病

2011年神奈川県の大疾病傷病別患者数は、糖尿病患者が21万人、悪性新生物患者10万3千人、脳血管疾患患者7万5千人です。

2002年以降の推移は、糖尿病患者数の伸びが顕著で、2011年は2005年の10万4千人の2倍以上となっています。

(86、87頁参照)

答2 ③ 22.3%

2010年神奈川県において保健所に届け出ている男性医師数は13,733人、女性医師数は3,943人です。女性割合は22.3%で、10年前2000年17.7%より4.6ポイント高くなっています。なお、全国の2010年女性医師割合は18.9%で、神奈川県は全国より3.4ポイント高くなっています。

(100、101頁参照)

答3 ③ 69.7%

2010年神奈川県において保健所に届け出ている男性薬剤師数は5,935人、女性薬剤師数は13,675人です。女性割合は69.7%で、10年前の2000年71.0%より1.3ポイント低くなっています。なお、全国の2010年女性薬剤師割合は60.9%で、神奈川県は全国より8.8ポイント高くなっています。

(100、101頁参照)

答4 ② 4.7%

2010年神奈川県における男性就業看護師数は2,426人で全体の4.7%です。10年前は2000年768人で2.2%でした。なお、全国の男性就業看護師割合は、2010年は5.6%となっています。

(102、103頁参照)

答5 ③ 約37%

2011年神奈川県的女子17歳の睡眠時間が「6時間未満」の割合は37.0%です。

6歳・10歳・14歳・17歳と比較すると、男女とも年齢が上がると睡眠時間「6時間未満」の割合が増加する傾向にあります。

(116、117頁参照)

安全・犯罪と暴力

答1 ② 5,725件

県では、配偶者等からの暴力を受けている方からの相談を神奈川県配偶者暴力相談支援センターで受けており、2011年度の相談件数は5,725件で、2002年度2,775件の2倍以上になっています。

(122、123頁参照)

答2 ② 30歳代・40歳代

2011年度DV被害者本人からの相談件数4,140件のうち、不明を除いて最も多い年齢は40歳代で923件、次いで30歳代で879件となっています。

(122、123頁参照)

答3 ③ 7,466件

2010年度中、神奈川県内の児童相談所における児童虐待に関する相談対応件数は7,466件で、10年前の2000年度1,483件の5.0倍、5年前の2005年度3,452件の2.2倍と急増しています。(130、131頁参照)

答4 ② 約34%

2011年度の調査によると、「交際相手からの暴力(いわゆるデートDV)」について「言葉もその内容も知っている」と解答した人は33.7%でした。男女別にみると男性は31.5%、女性35.8%となっています。

(124、125頁参照)

問5 ③ 約10%

2011年度の調査によると、10歳代から20歳代の頃に交際相手がいた人に、被害があったと回答した人は10.1%でした。男女別にみると、男性5.8%、女性13.7%となっています。(124、125頁参照)

意思決定と意識

答1 ③ 31.6%

2010年度神奈川県の審議会等の委員のうち、女性委員の割合は31.6%です。2000年度26.2%、2005年度28.9%と女性委員の割合は右上がりです。

なお、国の審議会等における女性委員の割合は、2000年度20.9%、2005年度30.9%、2010年度33.8%となっています。

(136、137頁参照)

答2 ② 11.2%

2010年度神奈川県議会議員のうち、女性議員の割合は11.2%です。1990年度5.5%、2000年度8.4%と女性議員の割合は右上がりです。

なお、2010年度神奈川県内の市議会議員のうち、女性議員の割合は21.5%です。1990年度8.7%、2000年度17.9%と女性議員の割合は右上がりです。

(136、137頁参照)

答3 ① 46.8%

2011年度に届出のあった事業所の従業員で、女性の正社員の割合は46.8%です。

なお、2002年度は54.1%、2008年度は48.2%で、2002年度と比較すると、女性の正社員割合は7.3ポイント低くなっています。

(138、139頁参照)

答4 ③ 83.1%

2011年度「神奈川県男女共同参画推進条例」により神奈川県に届出があった事業所のうち、育児休業の内部規則のある事業所は99.6%で、利用実績のあった事業所は83.1%です。

2002年度は74.7%、2005年度は77.2%でした。

(146、147頁参照)

答5 ② 再就職コース

国立社会保障・人口問題研究所の出生動向基本調査によると、全国の18歳から34歳の未婚女性が理想とするライフコースは、2010年では再就職コースが全体の35.2%で最も多く、次いで両立コース30.6%、専業主婦コースが19.7%の順でした。

なお、「理想は理想として、実際にそうなりそうなあなたの人生はどのタイプですか」（予定ライフコース）への回答は、2010年では再就職コースが全体の36.1%で最も多く、次いで両立コース24.7%、非婚就業コース17.7%、その他・不詳9.5%、専業主婦コース9.1%の順でした。「理想ライフコース」と項目ごとに比較すると、非婚就業コースは12.8ポイント「予定ライフコース」が高く、専業主婦コースは10.6ポイント「理想ライフコース」が高くなっています。(144、145頁参照)

答6 ② 再就職コース

全国の18歳から34歳の未婚男性がパートナーとなる女性に望むライフコースは、2010年では再就職コースが全体の39.1%で最も多く、次いで両立コース32.7%、その他・不詳11.0%、専業主婦コース10.9%の順でした。

1992年調査と比較すると、専業主婦コースは19.5ポイント低下、再就職コースは5.1ポイント低下し、両立コースが21.9ポイント上昇しています。

(144、145頁参照)